



## 右大臣と左大臣は、どちらが位が高いの

### 左大臣のほうが右大臣より位が高い

日本の古い時代に、律令制度（古代国家の基本を定めた制度）というものが行われていました。律令制度は、中国の制度をまねて、7世紀後半から8世紀にかけて定められました。律令制度によって、国が国民を支配していた時代を「律令時代」といいます。日本では、大化の改新（645年）後の7世紀後半から10世紀ごろまで続けました。左大臣とか右大臣という位は、そのときにあった役職です。

律令制度では、中央の最高行政機関を太政官（だいじょうかん、またはだじょうかん）としました。太政官は、8つの省をさしずして、政治を行いました。太政官の長官は、太政大臣で、この下に、左大臣・右大臣がいました。

太政大臣は、太政官の最高の位にあたりますが、そのとき、適当な人がいない場合は、任命されませんでした。その場合、左大臣が政治の最高責任者となります。左大臣がほかの仕事でいないときには、右大臣がその代わりをつとめました。

### 左大將と右大將

天皇・皇后のいる皇居を守ったり、天皇・皇后が外出するときに、その身を守る仕事をする役所に左近衛府と右近衛府というものがありませんでした。左近衛府の長官を左近衛大將としました。その下に、左近衛中将、左近衛少將という位がありました。右近衛府にも同じ位がありました。（監修・田代 脩）

